

知ろう！話そう！語り合おう！

～市民満足度から考えるこれからのまちづくり～

令和3年11月21日(日) 13:00～16:00

会場：湯沢市役所本庁舎1階 市民ロビー

市民討議会について

- 堅苦しい会議ではなく、カフェでくつろいでいるようなリラックスした雰囲気での話し合いです。
- 専門知識や事前の準備は必要ありません。
- 討議会の結果は報告書として一般公開し、計画づくりの参考とさせていただきます。
※討議会は一般公開で行います。
※記録のため写真撮影・ビデオ撮影を行います。

当日の流れ

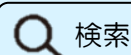
- 13:00 開会・挨拶
 - ◆オリエンテーション
 - ◆事前説明（湯沢市の現状・これまでの取組・市民満足度調査の結果報告）
 - ◆グループワーク
- 16:00 閉会・挨拶



総合振興計画とは？



湯沢市総合振興計画



総合振興計画は、長期的な展望に基づくまちづくりの将来像を示し、市政を総合的・計画的に運営するための各分野における政策の方向性を定める**市政運営の最も基本となる計画**で、基本構想（H29～R8＝10年）と基本計画（H29～R3＝前期5年、R4～R8＝後期5年）、実施計画（毎年見直し）の3層から構成されています。

基本構想は、まちづくりの方向性を、基本計画は基本構想を実現するための施策を、実施計画は基本計画で定める施策を実現するための具体的な取組を示しています。

湯沢市では現在、**後期基本計画（R4～R8＝後期5年）**の策定作業を進めています。

市民満足度調査とは？



湯沢市市民満足度調査



市民満足度調査は、湯沢市に住む15歳以上の方の中から無作為に抽出した約1,400の方を対象に、平成29年度から毎年実施しているアンケート調査です。

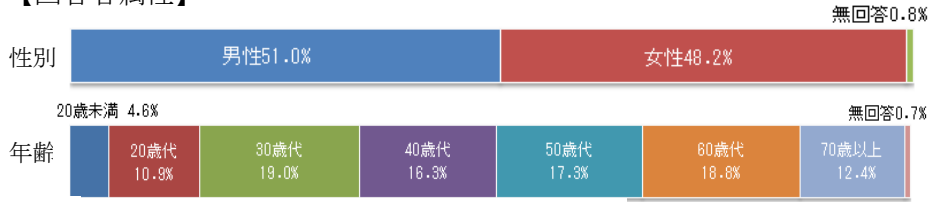
市が行っている施策（市の取組を分野別にまとめたもの）について、満足しているかどうか、重要だと思っているかどうかなどを調査し、今後のまちづくりや企画立案等の参考としています。



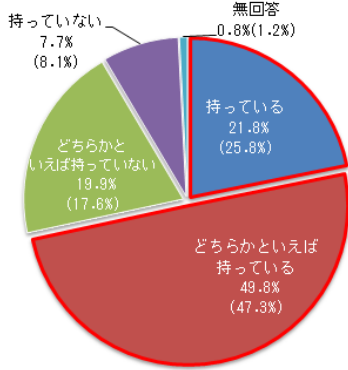
【調査方法】

令和2年4月30日～5月18日の期間、市民1,400人に郵送で配布および回収(回答数612人、回答率43.7%)

【回答者属性】

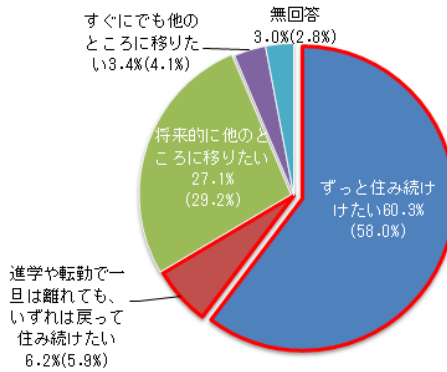


【湯沢市に愛着や誇りを持っているか】



「湯沢市に愛着や誇りを持っている、どちらかといえば持っている」と答えた割合は、昨年に引き続き約7割以上
※カッコ内は令和元年度の実績

【湯沢市に住み続けたいか】

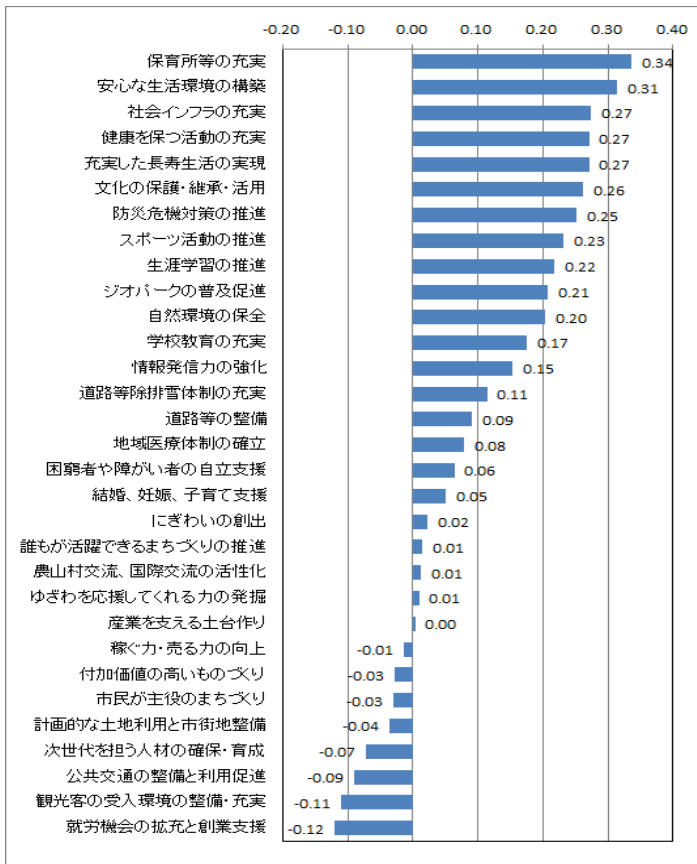


「湯沢市にずっと住み続けたい、いずれは戻って住み続けたい」と答えた割合は、昨年に引き続き約6割以上
※カッコ内は令和元年度の実績

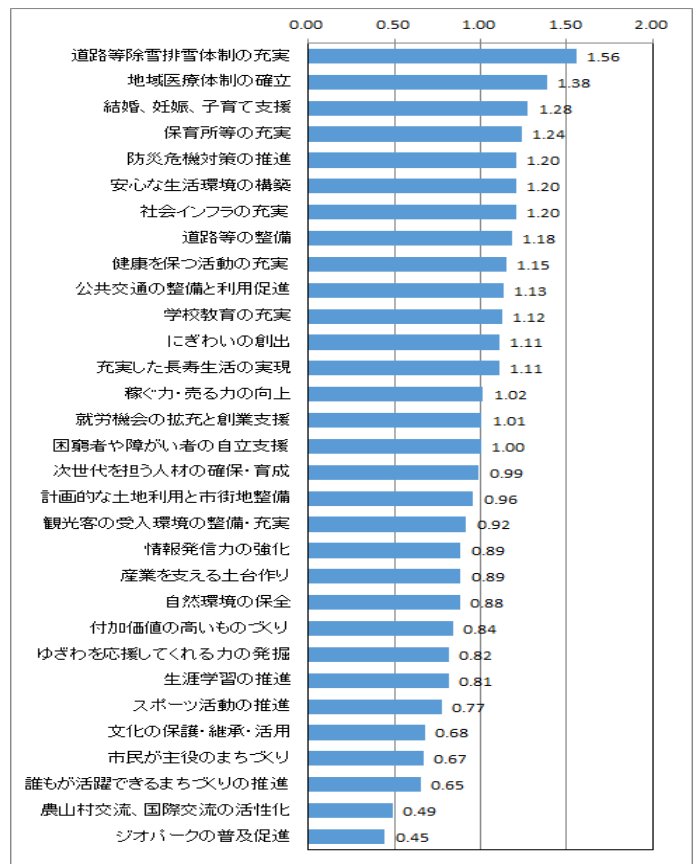
【各施策の満足度・重要度】

・各施策（31項目）の満足度と重要度を数値化した結果です。（数値が大きいほど満足度と重要が高い）

<満足度>



<重要度>



- ・満足度が一番高い施策は、「保育所等の充実」（保育所等の施設整備・運営支援、放課後児童クラブの開設・運営など）
- ・満足度が一番低い施策は、「就労機会の拡充と創業支援」（企業誘致活動、起業支援など）

- ・重要度が一番高い施策は、「道路等除排雪体制の充実」（除排雪作業の実施、消雪設備等の維持管理など）
- ・重要度が次に高い施策は、「地域医療体制の確立」（皆瀬診療所の運営、福祉医療(マル福)の給付など）